

Governor's Monthly Letter



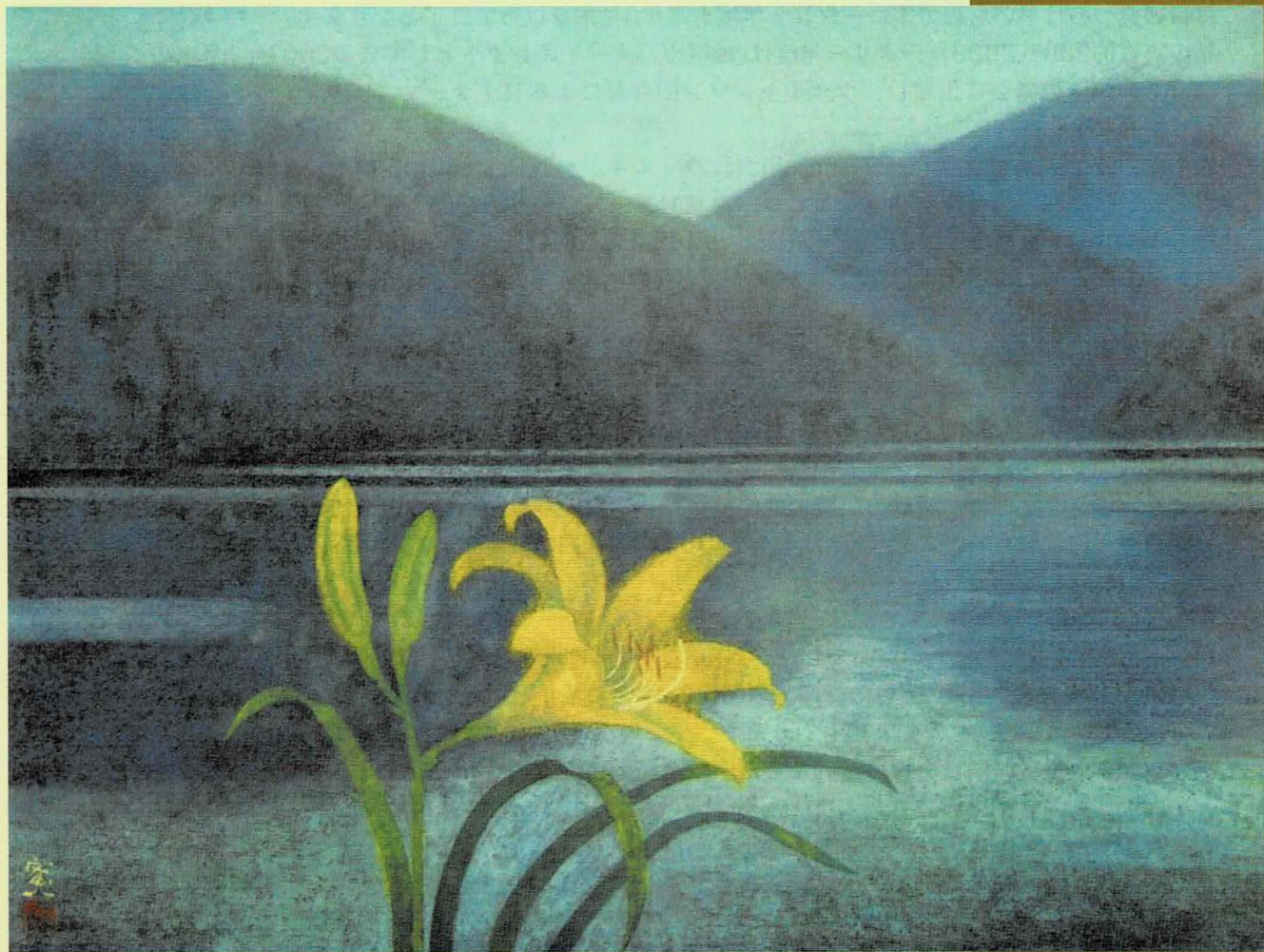
To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550 (Tochigi, Japan)

R I 会長 ウィルフレッドJ. ウィルキンソン

ガバナー 近 藤 隆 亮

2007~2008年度
国際ロータリーテーマ **ROTARY SHARES**
ロータリーは分かちあいの心



目 次

- | | |
|----------------------------|--|
| P. 1 近藤ガバナーメッセージ | P.14 インターアクトクラブ活動 |
| P. 4 2007-08年 近藤ガバナ一年度を顧みて | P.15 RI意義ある業績賞・協同プロジェクト最高賞・会長賞、米山・R財団一覧表 |
| P. 5 近藤ガバナ一年度を顧みて | P.16 第2550地区 新入会員 |
| P.12 第2グループIM開催報告書 | P.18 物故会員 |
| P.13 第18回国際交流タイボランティア活動 | P.19 文庫通信、ロータリー綱領 |

米陀 寛
題名[禅庭花(ニッコウキスゲ)]

6月:ロータリー
親睦活動月間

今月のロータリーレート
1米ドル=102円



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所
〒320-0802 栃木県宇都宮市江野町1番12号 栃木実業ビル2階
TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551
E-mail : k2550@lemon.plala.or.jp

2008.6
No.12



2007-2008ロータリーアンダードを顧みて



国際ロータリー第2550地区
2007-2008年度ガバナー

近藤 隆亮 (宇都宮RC)

月日の経つのは早いもので本ロータリーアンダードも本年6月末を以って終了となります。

私の実質的2007-2008ロータリーアンダードは、地区ガバナー・エレクトとして去る2007年1月末の米国サンディエゴでの国際協議会に出席し、ウィルキンソンRI会長によるR I テーマ「Rotary Shares」を戴いたときから始まりました。

本年度のR I テーマ、Rotary Sharesには、ウィルキンソンR I 会長の深い思い、即ち、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を基本としてロータリアン一人ひとりの時間と資金と能力とそして愛をも分かち合って奉仕活動を世界にまで広げ、そして又、この素晴らしいロータリーの組織の維持発展がロータリアン一人ひとりの責務であることを認識し、ロータリー会員の維持発展に努力しよう、と言う思いが込められました。

私は、ウィルキンソン会長の思いを忖度し、ロータリー活動の原点である「クラブの活性化」、その基本として「ロータリーの魅力を認識し、これをシェアーしよう」と、地区内全てのクラブの皆様に呼びかけさせて戴きました。

地区内各クラブの具体的活動方針・内容・方法などは、CLPに基づき、クラブの自主性を最優先して、DLPに基づく地区支援体制を最大限活用する事を目指して戴きました。その結果として、地区内全てのクラブに於いてクラブ運営・活動の組織・方法の見直しが実施され、具体的には地区内各クラブの細則の見直し・整備が実施されました。来年度には、全てのクラブがCLPに基づく独自性ある活動体制を整えられ、新たなる活動が開始されることと期待致しております。

本年度、各クラブの活動結果を示す一つの指標として、ロータリー会員数の変遷を顧みますと、2007年7月1日の地区内会員総数は1,901名でしたが2008年5月末日現在の総数は1,947名、年度内の新規入会者129名、退会者83名、差し引き46名の純増、当初比2.42%の増員となりました。これは所期の目標値、各クラブ純増1名の92%を達成したことでもあります。又、地区内50クラブ中27クラブが純増となり、各々ウィルキンソンR I 会長賞の栄誉を獲得されました。地区内各クラブの活動の成果として心からお慶び申し上げます。

年度地区最大のプログラムである地区大会は、本年4月3、4、5日に亘り宇都宮で開催されました。記念ゴルフ大会、会長代理夫妻歓迎晩餐会、本会議と、内容の充実を図りながら各自分離して開催しました。会長代理として国際ロータリー第2780地区P D G 松宮剛様ご夫妻をお迎えし、盛会裏に終了できました。これも地区内全クラブ、全ロータリアンのご協力、ご支援の賜物と深く感謝の意を表する次第であります。

地区内各クラブにおける活動の具体的結果、及びR I の常設プログラムである、青少年交換、ローター・アクト、インター・アクト、ライラ各プログラムに関しては、各クラブ、各委員会からも、詳細ご報告が行われるものと思いますが、いずれについても所期の目標を上回る活動実績を示されました。特にインター・アクトプログラムでは、新たに作新インター・アクト・クラブが結成され、地区内で合計13クラブとなりました事、ご同慶の至りであります。

ロータリー財団関連では、昨年11月16日付で締結された、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団との1億米ドルのマッチング・グラント方式寄付契約に対応し、全国に先がけ、当地区のDDFを活用し、本年度50,000米ドルのポリオ・プラスへの寄付を決定実施しました。



今後の地区の運営をR I 提唱、推奨によるD L P、C L Pの導入に対応してより活性化するため、地区運営の指針となるものを、当地区活性化委員会とも協力して制定しました。本年の7月1日から「国際ロータリー第2550地区運営指針」として施行致します。本指針では、地区運営の要となる、「地区運営委員会」を新たに設け、情報の一元化を図りながら各活動部門の活性化を目指しております。次年度以降の地区活動の活性化に、より良い効果が発揮される事を期待致しております。

国際ロータリーの本年度最後を飾る、米国ロスアンゼルスでの第99回ロータリー国際大会に参加して参りました。大会に先立ち開催された国際研究会にも参加し、世界から集まった6百人余のP D G及び現ガバナーの皆様方と共に2日間に亘りロータリーの主たる価値観、即ち、奉仕（Service）、親睦（Fellowship）、多様性（Diversity）、高潔性（Integrity）及び指導性（Leadership）に就き研究討議を行いました。これら研究会を通し、ロータリー活動の真髄は、ロータリアン一人ひとりの高い倫理観（Ethics）と人間としての高潔性（Integrity）にある事を改めて認識・確認出来ました。

6月15日の大会開会に当たり、ウィルキンソンR I 会長は次の様に呼びかけられました。「私たち国際ロータリーの33,000クラブの各クラブが情熱と誇りをもってロータリーの心を分かちあっています。この大会では、ロータリーを分かちあうと共に、ロータリーを祝いましょう。」又、ロータリーの世界的普遍性に就き、「ロータリアンは世界中の国から差別無しに集まった会員です。ロータリーは全ての人種、全ての信条をもった会員の集まりです。真の平和を実現するには、もっと多くのロータリアンが必要になるでしょう」というアイスランド大統領の言葉を引用されました。そして、「世界中にもっと多くのロータリアンが必要です。事業や活動に携わるロータリアン、喜びをもって人類のために活動するロータリアンが必要です。2008-2009年度では、献身的な心を以って夢をかたちにするのです。皆様本当にありがとうございました。」と結ばれました。

本ロータリーアイドを終るに当たり、改めて地区内全てのクラブの皆様に、そしてクラブの支援体制である地区チームの一員としてご活躍戴いた地区役員・委員の方々及びホストクラブとして地区行事の開催・運営に支援協力戴いた宇都宮R C の皆様に、そして又ガバナー職務の遂行の為昼夜を分かたぬご支援を戴いたガバナー事務局スタッフの皆様に、深く感謝致すと共に心から御礼申し上げます。

ウィルキンソン会長も言われたように、我々ロータリアンの夢をかたちにするため、本年度にも増して2008-2009年度の地区活動へのご協力、ご支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、前述の国際研究会の「Ethics Address」にて発表され、私が非常に感銘を受けました、ジョセフソン倫理研究所長のPoem 「What will matter」を私なりに意訳しましたものを併せご紹介致します。

「人生にとって何が大切か」

ジョセフソン倫理研究所創設者兼所長
マイケル・ジョセフソン

覚悟の有無に拘わらず、貴方にもいつか人生の終わりの日がきます。そして、もう貴方の上に太陽は昇らないでしょうし、貴方の日々も、時間も無くなるでしょう。

全ての貴方の持ち物は宝物であろうと何であろうと他の人へと移ります。貴方の富も名声も消え失せます。貴方が何を持っていたか、何を借りていたか等は問題でありません。

貴方の恨みや、怒りや、不満や、妬みなどは最終的に消え去ります。そして又、貴方の希望や、野心や、計画や、やりたい事のリストなどは時間切れとなります。嘗て、かくも重要と思われた、勝つことや負けることの意義は次第に消え失せて行きます。

貴方が何処から来たか、いかなる主義主張の側に立ったかなどは問題ではありません。貴方が美しかったか、輝いていたかなどは問題ではありません。ましてや貴方が男であったか女であったか、又皮膚の色が何であったかなどは無関係です。



それでは何が大切なのでしょうか？ 貴方の生きた人生は何で評価されるのでしょうか？

大切なことは、貴方が何を購入したかではなく、貴方が何をやり遂げたかであり、貴方が何を得たかではなく、何を与えたかであります。

大切なことは、貴方の成功ではなく、貴方が大切な価値ある人であるか否であります。

大切なことは、貴方の学んだことではなく、貴方の教えたことであります。

大切なことは、貴方を手本としようとする、他の人々を勇気付け、力付ける、貴方の高潔性であり、同情心であり、勇気や犠牲を伴う行為であります

大切なことは、貴方の能力ではなく、貴方の人格であります。

大切なことは、貴方がどれだけ多くの人々を知っていたかではなく、貴方が死んだ時、その喪失をどれだけ多くの人々がどれだけ永く感じ続けるかであります。

大切なのは、貴方の記憶ではなく、貴方を愛した人々の記憶であります。

大切なのは、貴方が、貴方を愛した人々により、どれだけ永く記憶に留められているかであります。

大切な価値ある人生は、突然に生まれるものでもなく、環境によるものでもなく、それは貴方の選択によるものであります。

貴方の人生をどのように生きるか、貴方が自分で決めて下さい。それが大切なです。

(註：原文は英文、近藤隆亮意訳)

WHAT WILL MATTER

by Michael Josephson

Ready or not, some day it will all come to an end.

There will be no more sunrises, no minutes, hours or days.

All the things you collected, whether treasured or forgotten, will pass to someone else.

Your wealth, fame and temporal power will shrivel to irrelevance.

It will not matter what you owned or what you were owed.

Your grudges, resentments, frustrations and jealousies will finally disappear.

So too, your hopes, ambitions, plans and to-do lists will expire.

The wins and losses that once seemed so important will fade away.

It won't matter where you came from or what side of the tracks you lived on at the end.

It won't matter whether you were beautiful or brilliant.

Even your gender and skin color will be irrelevant.

So what will matter? How will the value of your days be measured?

What will matter is not what you bought but what you built,
not what you got but what you gave.

What will matter is not your success but your significance.

What will matter is not what you learned but what you taught.

What will matter is every act of integrity, compassion, courage or sacrifice that enriched,
empowered or encouraged others to emulate your example.

What will matter is not your competence but your character.

What will matter is not how many people you knew,
but how many will feel a lasting loss when you're gone.

What will matter is not your memories but the memories of those who loved you.

What will matter is how long you will be remembered, by whom and for what.

Living a life that matters doesn't happen by accident.
It's not a matter of circumstance but of choice.
Choose to live a life that matters.



2007-08年 近藤ガバナー年度を顧みて



国際ロータリー第2550地区
地区幹事

篠 崎 昌 平(宇都宮RC)

落合ガバナー年度の大島伸介地区幹事様のご指導の下、地区幹事の大役を引継ぎ早や2年が経過して、今、近藤ガバナー年度も終わろうとしております。そして次年度の羽石ガバナーエレクト年度の福田治雄地区幹事様の引継ぎの年度を残すばかりとなりました。

福田

顧りみれば新年度に先んじて、毎年継続して実施される一連の研修セミナー地区チームリーダー・会長エレクト研修セミナー・そして地区協議会に始まり、年度前半の仕事は地区内50クラブ全部のクラブを訪問した“ガバナー公式訪問”に終始した様に思います。

私もいくつかのクラブに近藤ガバナーの随行員として訪問をさせていただき、沢山のクラブ会員さんと知り合うことができ友情を広げることが出来ました。人数の少ないクラブ、多いクラブなどいろいろありますが殆どのクラブはCLPを組み入れており、今年度は、GLP・CLPの実践の年と位置づけ、近藤ガバナーも終始、これを説明され、クラブの活性化と独自性を強調しておられました。

年度後半は専ら本年4月4、5日、宇都宮グランドホテルで開催されました第2550地区、地区大会の準備に追われ実行委員会の皆様に大変ご苦労をいただきました。今年度、ホストクラブである宇都宮R・Cの皆様のご協力で一連の行事が成功裡に終了出来ましたことに対し、厚く御礼を申し上げます。

今、我々のロータリーも100年の歳月を経て大きく变ろうとしております。しかしながら我々ロータリアンはお互いの友情と信頼を深め、一職業人としての自覚を以て職業を通して社会に奉仕し、人類の為の“奉仕の理想”の理念を深く理解し、それぞれのクラブの活性化と独自性の進展に努めてゆきたいものです。



国際ロータリー第2550地区

第1グループガバナー補佐

加 藤 利 勝 (黒羽RC)

2007~2008年度第1グループガバナー補佐を終了することが出来ますことを近藤ガバナー始め地区ガバナー補佐、地区役員様には感謝申し上げます。大変御世話になりました。又第1グループ7クラブの会長、幹事様には昨年6月の第1回会長・幹事会に始まり、年間スケジュールを相談致しまして各クラブ訪問日程打ち合わせの上、年間4回訪問を実行することが出来ました。

公式訪問は、9月26日塩原R・Cがスタートで緑の深い渓谷を通り、太田会長がお迎えの中、クラブ協議会を熱心に行いました。次は那須R・C堀江会長始め國分幹事の篤い歓迎の中、クラブ定款、細則についてお話し合いが有り、ロータリークラブの基本的考え方をクラブ協議会を通じ理解する事が出来ました。

10月に入り西那須野R・C磯ヶ谷会長、大田原中央R・C高松会長、黒磯R・C鳥居会長、大田原R・C青柳会長、最後は黒羽R・C園部会長皆様には細部に渡り公式訪問に対して御配慮を頂き、大変御世話になり厚く感謝申し上げます。

第1グループのI・Mは2月17日にホテル花月において開催致しました。テーマは「黒羽藩と作新館」と言う事で福田春雄先生(大田原R・C)の講演を頂き、地方の時代は先人の歴史や文化・伝統を学び、那須地域全体の有り方をクラブの方々を通じ、さまざまの考えを持ちました。

懇親会は「江戸情緒を楽しむ会」と題して、豊年斎五代目家元・二代目櫻川びん助氏による「かつぼれ」で楽しく終わる事が出来ました。

一年を通して各クラブの運営について感じた事は、第1グループの4クラブが20名前後の小クラブで有り、近藤ガバナーの指導を受けCLP導入によりクラブの活性化とクラブ主体の考え方で各クラブ独自のカラーを出してクラブ運営に努力し、他クラブの交流を活発に行う事が必要である事を感じました。

黒羽R・C、大田原R・Cホストによる地区野球大会では、前夜祭から大田原市営球場での大会御苦勞さまでした。

最後に、5月24日第1グループ親睦ゴルフ大会を4年ぶりに行いました。

30名の参加者で団体戦では大田原R・Cが優勝致し、次年度も再会出来る事を約束し終る事が出来ました。一年間本当に御世話になり有難う御座いました。

第1グループ親睦ゴルフ大会

大田原R・C(戸辺会員)



国際ロータリー第2550地区

第2グループガバナー補佐

川 又 茂 三(馬頭小川RC)

2007~2008年度、第2グループガバナー補佐に就任して早や一年が過ぎようとしています。2006年9月24日第1回研修会（落合G、近藤G E招集）を皮切りに補佐就任までに8回の地区招集があり、2007年7月に就任しました。その間、補佐としてのさまざまな研修、勉強会が行われました。一方当グループ内においては、この期間、高橋經雄ガバナー補佐（氏家）が一年交換学生の受入れについて大変なご苦労をされており、その姿を眼の当たりにし、補佐に求められる忍耐と責任の重さを学ばせていただきました。何故、受入れがこの程、難航するのか、当グループは5クラブ、会員数最高時で229名、上は60名台、下は30名台であったものがその後激減し今では07年6月現在で122名、矢板RC、氏家RCが30名台に残っているのみ他の3クラブは20名前後と低迷しており!! 小さいクラブは小さいなりに!! とは言うものの、あまりにも少ない会員数から派生する問題の1つでもあると考えられます。ガバナー訪問は10月3日の馬頭小川RCから始まり10月一杯で終了しました。その間、近藤ガバナーの精力的な行動力には感服するばかりで、特にロータリーを判り易く解説、説教されロータリーの魅力を喚起させていただき私達ロータリアンに多大な感動と感銘を与えて下さいました。公式訪問、各会場とも耳をそば立て、眼を輝かし聞き入る姿が多く、正にロータリー開眼の年度であったと思っています。このことは新人、長老を問わず、これまでとは違う何かを感じ取り必ずや今後のロータリー活動に生かされ、クラブ発展にも寄与するものと信じております。又、10月には私の所属します馬頭小川RC創立35周年記念式典が28日南平台温泉ホテルに於いて開催され、近藤ガバナーをはじめ地区内外、並びに姉妹クラブ台湾、大平扶輪社から23名が出席されるなど盛大に挙行されました。当グループのIMは2月17日馬頭小川RCをホストとして南平台温泉ホテルで開催し、地区活動目標に掲げている「クラブの活性化」をIMのテーマとし、各クラブ代表5名が意見発表を行いました。主張された内容は大まかに!! 例会出席の重要性!!! ロータリー活動に参加する重要性!!! 会員増強の重要性!! が込められた意見発表でした。3月に入りGSE受入れを22日~26日まで行い、全クラブが分担して6名を受入れ、一行を元気に第7グループに引継ぐことができました。最後に一年を振り返るとき、常に頭から離れなかった会員増強でありながら実効性のある指標を示せないまま任期を終えることになり、我ながら腑甲斐無く残念に思っております。しかしながら高橋前ガバナー補佐から引継いだバトンを次期斎藤ガバナー補佐にお渡しできることは、これ偏えに近藤ガバナーをはじめ地区役員の皆様、そして第2グループ会長、幹事様をはじめグループ内会員皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げます。有難うございました。



国際ロータリー第2550地区
第3グループA ガバナー補佐

鈴木 宏(宇都宮北RC)

謹啓。万緑の候、近藤隆亮ガバナー年度も幕を閉じようとしている時でもあります。私がガバナー補佐としての職責を果たすことが出来ましたこと担当クラブの会長・幹事殿そしてクラブ会員の皆様に感謝いたしております。

ガバナー補佐として、担当させていただきましたのは宇都宮の5つのクラブでした。

ガバナー輩出クラブでもあります宇都宮RCの関口快流会長・辻博明幹事殿にはクラブだけではなく、地区大会をはじめとして地区内の多くの行事の準備・実施等本当にお疲れ様でした。また、クラブ訪問時には温かく迎えていただき、歴史ある大人のクラブを十二分に堪能させていただきましたこと感謝いたします。

宇都宮西RCの柴田恒男会長・森田佳延幹事殿には、IMのホストクラブとしてIM実行委員会（伊東永峯実行委員長）の会議を昨年の7月より10数回に及び開催していただきました。そして、赤枝恒雄氏による「若者の明るい未来のために一ストップ・エイズ」の講演・パネルディスカション、友愛を深める懇親会と楽しませていただきましたこと感謝いたします。また、西RCの奉仕プロジェクトでもあります「STOP AIDS-B.B.Balloonキャンペーン」が「意義ある業績賞」となりましたこと本当におめでとうございます。

宇都宮90RCの安藤英夫会長・川名悟幹事殿、「作新インタークト・クラブ設立」おめでとうございます。この一年間で設立されましたクラブの活力に感激いたしました。また、地区の野球大会では鹿沼RCと共に優勝され「甲子園大会出場」お疲れ様でした。

宇都宮陽北RCの中村利美夫会長・岩崎正日登幹事殿にはいつも実直に対応していただき感謝いたしております。

また、2007年度規定審議会（07-334）にてクラブ定款第12条会員身分の存続の第4節終結一欠席に記載されました「理事会による定義に従っているガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする。」こう書かれていますが、中々自クラブの出席が出来ず、宇都宮北RCの織田宏二会長・斎藤隆幹事殿申し訳ありませんでした。

近藤隆亮ガバナーと共に仕事をさせていただき、自分にはない視点で物事を見ていくことを教わり、大変勉強になりました。また、「国際ロータリー第2550地区危機管理委員会設置規定」・「国際ロータリー第2550地区運営指針」を近藤隆亮ガバナーのもとでともに草案できましたこと感謝いたしております。

しかし、残念なことは2008年1月RI理事会の決議156で、『決議23-34』は『歴史的文献』となつたことです。このロータリーの哲学もあり、ロータリーの活動指針たるもののが効力がなくなったということは「ロータリーは何に向かって歩みを進めて行くのでしょうか?」

担当クラブの会長・幹事殿には、任期満了となり清々しい解放感を感じられていることと思います。心から感謝の気持ちと祝福を贈りたいと思います。ありがとうございました。

敬具



国際ロータリー第2550地区
第3グループB ガバナー補佐

比 企 達 男 (宇都宮陽東RC)

ガバナー補佐を勤めたこの一年は、私のロータリーライフの中では比類ない昂揚した期間となった。時が過ぎ、A・Gのロータリーエンブレムを見る度に、この期間の事が想い出されるであろう。近藤隆亮ガバナーは、基本はあくまでもキッチリと守った上で、それ以上は目をつぶってとやかく言わないという方であり、社会生活上でも大いに得るところがあった。

私の担当した4 R.C.は、夫々特徴を持ちながら、親睦と奉仕のバランスが高いレベルでとれている良いクラブばかりであった。それにしても、R.I.は100年を超す歴史があるだけに、極めて完成度が高い団体であるとつくづく思った。親睦と奉仕は車の両輪であること、四つのテストを言動の基盤とした卓識、『最も良く奉仕する者、最も多く報われる』がゴールデンルールであること等々、先人からの大きな遺産であると改めて思った。

親睦を欠き、心が一つでなければ奉仕どころではないであろうし、好意と友情を深めることなく、お互に批判や攻撃したりでは、やはり良い奉仕も出来るはずがなく、会員増強も望めないであろう。会員増強もロータリーの基本を守ることから始まるとして、ありきたりながら思はされた。



国際ロータリー第2550地区
第4グループガバナー補佐

富 田 兵 哉 (益子RC)

2007~08年度も年度末を迎え、各クラブの会員の皆様には、新旧組織の引き継ぎに何かと多忙な時期かと思います。

第4グループのガバナー補佐の委嘱を受けまして、同期の補佐と共に研修をスタートしました。近藤ガバナー、篠崎地区幹事、ガバナー事務所、同期の補佐、グループ内の会長幹事各位をはじめ、会員の皆様大変お世話になり、走馬燈のような一年でした。厚くお礼申しあげます。

近藤ガバナーの卓越したリーダーシップのもとご指導を頂いた事、私にとって、ロータリークラブを内外から見ることができ、本年度テーマの「ロータリーは分かちあいの心」を実践することができました。ガバナー補佐事務局スタッフの協力を得、今後のロータリー活動の貴重な経験となりました。

また、第4グループ内の各クラブを訪問する機会が増すとともに、ロータリアンの友情に励まれ、クラブ間の交流、会員の親睦の輪がグループ内に拡がり、クラブ協議会、ガバナー公式訪問、I・M、GSE、第4グループゴルフ大会、合同例会等充実した一年でした。

第2500地区北海道雄武RCとの訪問合同例会には、グループ内各クラブの会長幹事と多くの会員の皆様にご参加をいただき、思い出に残る事業でした。

今後とも第4グループの4つのクラブが一体となって活動される事をご期待申し上げます。

素晴らしい一年を経験させていただき、近藤ガバナー、同期ガバナー補佐、第4グループ内の会長幹事、会員各位の皆様に深く感謝申し上げます。



国際ロータリー第2550地区

第5グループガバナー補佐

神山宣久 (小山南RC)

ロータリーは楽しかったでしょうか！

親愛なるロータリアン諸兄、一年間ロータリーを楽しんで頂けましたでしょうか？特に第5グループの皆さんいかがでしたか？一年間如何にして楽しく過ごすか、一所懸命模索したつもりですが、こんなもんでしたかね。私、個人的には大変楽しませて頂きました。以前は、まったく以って自信の無いロータリアンでありまして、他クラブにマークに伺ってもなんとなく落ち着かない自分を感じておりました。この度は肩書が物を言って（？）か、何処に行っても歓迎されました。とても有り難い一年間を過ぎさせて頂きました。私の人生に於いて二度と有り得ない経験をさせて頂いたと思っています。有難うございました。肩書が無くなつた後、また歓迎して頂けるかどうか甚だ不安ではあります。是非、旧倍にも増してご厚誼頂けますようお願いする次第であります。

一度に多くのクラブを拝見させて頂いて、感じた事が三つあります。一つ目は、何と「クレナイ族」(表現が古いですか？)の多いことかと感じました。「ロータリーは儲けさせてクレナイ」に始まって、「例会に行っても何もしてクレナイ」「誰も構ってクレナイ」と言って例会に出なくなる。会員の数が減るのが怖くて腫れ物に触るようにしている。とても多いですね。ちょっと待ってください、少なくとも一国一城の主がロータリーに参加しようと決めたはずなのに、何と不甲斐ないことか。

二つ目は「会長さん幹事さん、あなた方二人がクラブの顔ですよ」と感じました。会社は社長の考え方一つで変わります。それと同じで、クラブは会長・幹事の運営の仕方で変わります。だから各クラブはそれぞれの顔をしていて、拝見していてとても面白い。就任する何ヶ月も前から計画を練り、準備万端整えて任期を迎える役員さん、去年と同じ事をして済ましてしまった人、「何かしようと思ったんだが」と思っただけで終わってしまった人、いろいろ有つて面白いと思いました。一生のうちに一回しか廻ってこない役柄ですから、思いつきりその能力を発揮して楽しまなければ、後悔と物足りなさだけしか残りませんよ。

三つ目はロータリーを楽しんでいる人が結構大勢居るという事を感じました。ロータリーはそうでなくっちゃ！私達は自由意志で参加しているはずですから、何にでもどんどん参加してロータリーでなくては出来ないことを体験するほうがより多く楽しめると思います。ロータリーを人生の重みにして。みんな「ロタキチ」になろう！

ロータリーを10倍楽しむために!!



国際ロータリー第2550地区

第6グループガバナー補佐

松 本 欣 也 (栃木RC)

今年度第6グループは、まず新年度を迎えるにあたって近藤ガバナーの2550地区活動方針を理解していただくべく、また、1年間未熟な私へのご支援のお願いのため5月に会長・幹事会を開催。この1年間会長・幹事会は計4回開催しました。この内2回は次年度ガバナー補佐、次年度会長・幹事を交えての開催は有意義なものでした。

近藤ガバナー公式訪問は、7月12日2550地区トップを切って栃木西クラブから、8月8日壬生クラブ、9月12日栃木クラブ、そして9月27日の栃木南クラブの訪問に随行し、各クラブの温かい歓迎を受け感謝しております。

I Mは2550地区ではまた皮切りに10月9日開催。内閣官房教育再生会議担当室長代理 土井征夫先生をお招きして「教育の再生について」と題し講演をいただきました。時期を得たタイムリーなすばらしいI Mでした。開催にあたりパストガバナー落合さんには土居先生の招聘など、そしてホストを受けていただいた栃木西クラブの皆様、実行委員長の石崎さんに大変お世話になりました。

早いものでガバナー補佐の任期も終わろうとしております。この1年間いや任期前から近藤ガバナーの熱いご指導には感謝申し上げ、また第6グループの会長さん、幹事さん、そしてクラブ会員の多くの皆様には、私を1年間支えて頂き心からお礼感謝申し上げます。



国際ロータリー第2550地区

第7グループガバナー補佐

馬 場 清 市 (今市きぬRC)

現在体調を崩し伏しておりますので大変申し訳ございませんが失礼をさせていただきます。

第2550地区並びに地区内各クラブの益々のご発展を祈念いたします。第7グループのクラブ会長・幹事様には大変お世話になりました。厚く御礼を申し上げます。



国際ロータリー第2550地区

第8グループガバナー補佐

板 橋 博 (足利東RC)

各クラブ訪問の内容については先の月信で報告しましたが、振り返って思い出しますのが、近藤ガバナーと一緒にロータリー活動が出来た事が良かったと感じていると同時に、色々と経験させて頂いたことに感謝しております。この経験を今後のロータリー活動に活かして行きたいという思いが今の私には有ります。また、もう一つの思い出としては、私の仕事の集大成としての I M (インターナショナルミーティング) を開催した事です。足利東クラブの皆様に実行委員会を作って頂き、大会が無事終了した事に感謝致すと同時に、会員の皆様に御礼を申し上げます。そしてこの大会のメインの卓話をパストガバナーの村上さんにお願いして、参加者100人余の会員に感銘を与えたお話を頂いた事が良い思い出となっております。

簡単ですが年度を顧みての挨拶と致します。



国際ロータリー第2550地区

第9グループA ガバナー補佐

川 島 淳 一 (岩舟RC)

2007~08年度近藤隆亮ガバナーのご指導のもと第9グループガバナー補佐としての任務を終わろうとしております。石川誠二郎会員の急逝のあとをうけて、不安と緊張の中での出発でした。幸い同期の補佐のみなさんのご指導が頂けましたことに感謝申し上げる次第です。

07~08年度のR I テーマ『ロータリーは分かち合いの心』のもと最初の仕事は各クラブ訪問とクラブ協議会の開催、ガバナー公式訪問でした。第9グループの各クラブは今年度はC L Pを全クラブで採用され大変活発な公式訪問が出来たと思います。近藤隆亮ガバナーの各クラブに対してのC L Pの解説は大変解りやすく感銘を受けるお話をかりました。

I M の開催についてはテーマを『広げよう、〈分かち合いの心〉を!』と定め第9グループ内各クラブの会長・幹事のみなさんのご協力のもと、3年未満の新会員研修には、亀山クラブ奉仕委員長さんのお骨折りで中村福蔵先生による『新会員へのオリエンテーション』を開催、28名が参加しロータリーへの理解を深めて頂きました。本会議においては、C L Pの採用による奉仕活動の成果を各クラブ会長さんに発表していただき、各クラブの特色がでた奉仕活動を知ることが出来ました。ふだん他クラブの活動についてはなかなか理解できませんが良い機会となったことだと思います。懇親会では若い女性の演奏にも大変もりあがり親睦と友情の輪も広がりました。

G S E の受入は第9グループが地区最初の受入となりグループ内会長・幹事のみなさん、特に佐野正行財団委員長、村上正子G S E 委員長、青山敏朗青少年交換委員長、佐野R Cのみなさんにはご指導ご協力頂き国際理解と親善の成果をあげる事が出来ました。

この1年間近藤ガバナーのお人柄に接し、同期の補佐の皆様方、グループ内会長・幹事の皆様、ロータリーアン皆様との出会いを通じ素晴らしい経験をさせていただきましたことを心から感謝申し上げ退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。



第2グループ IM開催報告書



第2グループガバナー補佐

川 又 茂 三 (馬頭・小川RC)

2007~2008年度、第2グループのIMは2月17日(日)馬頭小川RCをホストとして佐藤秀夫実行委員長、塩澤雄二会長、田島良久幹事を中心に準備が進められ、ホストクラブ会員ご夫人の協力のもと、南平台温泉ホテル鶴の間で開催されました。

IMのテーマは近藤年度、地区活動目標として掲げられている「クラブ活性化」をテーマとし、各クラブ代表5人が意見発表を行いました。

主張された内容は大まかに“例会出席の重要性” “ロータリー活動に参加する重要性”そして、モ会員増強の重要性などが込められた意見発表でした。

又、記念講演として宇都宮大学の梅永雄二先生を講師にお招きし「アメリカ障害児教育の現状及びロータリーとのかかわりについて」と題して講演していただきました。

続いて「少年の主張」発表で栃木県大会優秀賞発表の披露があり、最後に次回開催クラブ高根沢RC福富次期会長の挨拶、斎藤友紀雄次期ガバナー補佐の挨拶があり、第一部を終了しました。

終わって会場を同ホテル平安の間に移し、第2部懇親会に入りエレクトーン奏者倉沢大樹さん、フルートの島田絵里さんによる演奏(民謡・昭和演歌なども取り入れ)を聞きながら宴が進み、次第に一献差しつ差されつ会場内を歩き回って交流を深め、懇談尽きぬ間に閉会となりました。

終わってみれば、出席率に若干の課題ありとの思いがあるものの、グループ内会員一同に会し和気藹々での数時間、年に一度が二度に増えたらさらに活性化の一助になるのではと思った次第です。





七色の涙流して（完）

——栃木県立栃木工業高等学校の

「第18回国際交流タイボランティア活動」随行記——



インターラクト委員会
委員長

岡川光佑（宇都宮西RC）

無地帰国したからと全て言って終わったわけではありません。

継続して18回もボランティア活動を行ってきたことには驚かざるを得ませんが、なぜもののように続けることが出来たのでしょうか。

そこには「タイの3人のお母さん」達の個人的、献身的な活動があったのです。先に述べたように、現地における手配を全て行ってきたのです。しかも毎年同じところではないために、タイ国の各地を回って、新しく手配してきたのです。その準備のためには多くの苦労があった筈です。もうそろそろ辞めたいとの話が現実問題として持ち上がっているのです。とくに20回の節目までは頑張りたいとのことですが、その後は如何なることでしょう。

今回、特別に参加させて頂きましたが、このような問題があるとは考えてもいませんでした。当初参加したときにはどのような活動を行っているのをこの目で見ることでしたが、実際に中に入って活動をしてみると、色々な問題があることが分かつてきました。

財政的支援をすることも大切なことです、この活動が中止してしまってはその支援活動すら出来なくなってしまうのです。

現実問題として、日本の国内に於いてタイ国内の手配をすることには大変無理があります。どうしてもタイ国内に賛同者を必要とするのです。そうすることによりこの問題を解決出来、継続も可能となります。個人の力に頼るだけでなく、組織の力を必要としているのです。

ここにロータリークラブの組織の力を使うことが出来ないのでしょうか。

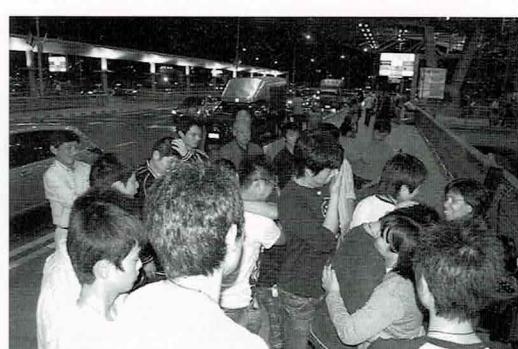
学校がリーダーシップをとるか、ロータリークラブが主体になるかは小さなことで、この素晴らしい活動を是非とも継続させたい、と個人的に願う次第です。壊すことは簡単ですが、作ることは大変なことです。ここまで出来上がっているのですからそれを如何に維持するかを考えるべきことなのです。

私自身問題を提起することは出来ても、解決する力も組織を動かす力もありません。

新世代プロジェクト委員会におけるインターラクト委員長を退任するにあたり、心残りの問題です。会員一人ひとりに問題解決のヒント、或はご協力の出来る方がおればお知らせ頂きたくお願い致します。



奉仕活動を成し遂げ安堵した喜びの顔、顔、顔



空港における抱きあっての涙の別れ

受賞記録（最近7年間の記録）

- H14.2.18 平成14年度 各種大会優勝者等表彰 栃木県教育委員会
- H14.11.22 ふるさとづくり賞 集団の部 内閣官房長官賞 明日の日本を創る会
- H15.10.24 第14回「馬場賞」 財団法人国際教育交流馬場財団
- H15.11.22 第5回朝日のびのび教育賞 朝日新聞社
- H15.11.25 善行青少年及び青少年健全育成 功労者 善行青少年（団体）内閣府政策統括官
- H16.2.17 平成15年度 各種大会優勝者等表彰 栃木県教育委員会
- H18.5.25 第512回「小さな親切」実行賞 社団法人「小さな親切」運動本部
- H18.10.20 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会
- H19.9.21 第19回毎日国際交流賞（団体）毎日新聞社



足尾の山に百万本の苗木を植えよう！

——インターラクターブの足尾の植樹活動——



インターラクターブ委員会
委員長

岡川光佑(宇都宮西RC)

4月26日(土)と27日(日)と2日間にわたり、今年も足尾の山にインターラクターブが植樹活動を実施しました。

4年ほど前になるのでしょうか、インターラクターブ担当顧問教師と地区的インターラクターブ委員及びクラブの担当委員長の合同会議に於いて、各クラブの活動現況を報告する中で、宇都宮西クラブが提唱する宇都宮短期大学附属高等学校の饗庭先生より足尾の植樹をロータリークラブ会員とともに活動している旨の報告がありました。

この件については、他の先生からも全員参加の出来る地区の統一した奉仕活動として今後実施して欲しいとの提案がありました。

然しながら、活動の基本はあくまでクラブであって、クラブが出来ない事を地区として助言したり、お手伝いに徹することあります。

そのような観点から、事前にクラブ会長宛にクラブとして足尾の植樹に参加するかどうかを尋ね、クラブとして実施する場合にはインターラクターブの生徒を率いて欲しい旨の調査をし、実施しないところのインターラクターブの生徒は地区にて面倒を見ることとしました。

かくして、インターラクターブ全員参加の出来る奉仕活動が出来上がったのです。

さて今年は、5月17日に認証状伝達式のあった作新学院高等学校インターラクターブの生徒達も初参加となりました。

提唱クラブの宇都宮‘90RCでは4月27日はクラブの行事と重なったために、地区の委員長である小職が担当して足尾に出掛けました。急峻な山を若者とともに登り、奉仕の汗を流してきたのです。

足尾に緑を育てる会では「100年間に100万本植樹をしよう」を合言葉に壮大な計画を立てて活動を続けているのです。昨年のインターラクターブの生徒の参加者は丁度100名でしたが、今年度は146名の多くの生徒たちが参加したのです。

地区としては6校のインターラクターブのために3コース、3台のバスを手配したのです。

地道な社会奉仕活動を続け、拡大を続けるインターラクターブクラブに声援を、そして惜しみない支援をお願い致します。



作新学院高校 I A C の生徒達による植樹

足尾の植樹

(平成20年4月26日(土)及び27日(日)実施)

学校名	提唱ロータリークラブ	実施日	担当地区委員	単独又は地区	参加IA
県立足利高校	足利RC	27日	橋本委員	単独	14名
足利短期大学附属高校	足利RC	27日	橋本委員	単独	8名
白鷗大学足利高校	足利東RC	27日	中島委員	単独	10名
足利工業大学附属高校	足利東RC	27日	中島委員	単独	9名
県立栃木工業高校	栃木西RC	26日	笠原委員	単独	10名
國學院大學栃木高校	栃木RC	27日	笠原委員	地区	4名
青藍泰斗高校	葛生RC	27日	(関口委員)	地区	12名
文星芸術大学附属高校	宇都宮RC	27日	岡川委員	地区	2名
宇都宮短大附属高校	宇都宮西RC	27日	岡川委員	単独	19名
宇都宮文星女子高校	宇都宮北RC	27日	二十二委員	単独	12名
県立黒磯高校	黒磯RC	26日	月江委員	単独	15名
県立塩谷高校	矢板RC	27日	菅野委員	地区	7名
作新学院高校	宇都宮90RC	27日	岡川委員	地区	26名
			合計		148名



おめでとうございます
(羽石年度地区大会にて表彰いたします)

2007-08年度 RI意義ある業績賞

宇都宮西RC

2007-08年度 協同プロジェクト最高賞

宇都宮北RC

真岡RC

2007-08年度 RI会長賞表彰クラブ

足利	利RC	西那須野RC
足利	東RC	大田原RC
足利わたらせRC		大田原中央RC
馬頭	小川RC	小山RC
今市	市RC	佐野RC
今市	きぬRC	高根沢RC
鹿沼	RC	栃木南RC
黒磯	RC	氏家RC
葛生	RC	宇都宮RC
益子	RC	宇都宮北RC
壬生	RC	宇都宮南RC
真岡	RC	宇都宮陽北RC
真岡	西RC	宇都宮陽東RC
那須	RC	那須RC

米山功労者一覧表 (2008年4月・5月)

鳥山	RC	朝信泰昌	第1回
鳥山	RC	萩原紀夫	第1回
鳥山	RC	三森文徳	第1回
鳥山	RC	渡辺大明	第1回
大田原中央RC		渡辺公平	第3回
高根沢RC		片野真雄	第5回
西那須野RC		益子浩	第3回
小山北RC		伊藤巳芳	第13回
小山北RC		伊藤巳芳	第14回
小山北RC		伊藤巳芳	第15回
佐野RC		熊倉勝	第2回

米山功労クラブ (2008年5月)

西那須野RC (32) 小山北RC (13)

ロータリー財団 (2008年4月・5月)

〈ポール・ハリス・フェロー〉

今市	RC	石塚満
鳥山	RC	萩原紀夫
鳥山	RC	三森文徳
鳥山	RC	渡辺大明
小山	RC	塚田錦治
栃木	RC	落合桂子
宇都宮陽北RC		西山穂
西那須野RC		角橋徹

〈マルチプル・ポール・ハリス・フェロー〉

足利	RC	山口新一郎	(1)
足利	東RC	石津泰造	(2)
足利	東RC	殿岡サク	(3)
今市	RC	青柳隆	(3)
今市	RC	福田政一	(1)
今市	RC	関根啓一	(4)
今市	RC	伊藤徳三郎	(1)
小山	RC	吉光寺俊夫	(2)
小山	RC	塚原勉	(2)
栃木	RC	柏崎和己	(1)
栃木	RC	落合雅雄	(6)
宇都宮東RC		阿久津忠男	(1)
宇都宮東RC		小花一夫	(2)
宇都宮東RC		中田功	(1)
宇都宮東RC		中山巖	(1)
宇都宮東RC		佐々木正	(2)
宇都宮東RC		轟宗雄	(1)
小山中央RC		川永作衛	(1)
小山中央RC		高松勝	(1)
宇都宮北RC		橋本昭二	(2)
宇都宮北RC		林田鐵也	(2)
宇都宮北RC		織田宏二	(4)
小山北RC		伊藤巳芳	(2)

〈ベネファクター〉

佐野	RC	秋山欣治
宇都宮東RC		中田功



とく はら ひで はる
徳 原 秀 晴
(鹿沼RC)

徳原工業(株)
代表取締役
入会年月日 平成20年3月6日

がんばります。よろしくお願ひします。

いい だ さとし
飯 田 訓
(真岡RC)

常陽銀行 真岡支店
支店長

ひとと 奉仕の精神を認識して活動していく
たいと思います、新人ですが宜しく
お願ひします。

ひら やま けん いち
平 山 賢 一
(大田原中央RC)

(有)羽田防水
代表取締役社長
入会年月日 平成20年2月13日

ひとと 寒い日が続く今日この頃、熱燗が何
よりも美味しいです。

え づら みき お
絵 面 幹 雄
(鹿沼中央RC)

(株)フリーポート
代表取締役
入会年月日 平成20年4月1日

ひとと 良きロータリアンになるべく努力し
ていきます。
宜しくお願ひ致します。

の ざわ のり お
野 澤 則 夫
(真岡RC)

宇都宮証券(株)真岡支店
支店長
入会年月日 平成20年4月17日

ひとと 4月17日に入会させていただいた野
澤です。皆様のご指導の程お願い致
します。

いい づか ちから
飯 塚 力
(足利わたらせRC)

(株)ファースト one エステート
代表取締役
入会年月日 平成20年5月1日

ひとと 多種多様な業種の方々との出会い
を楽しんで行きたいと思つており
ます。

くら しま かず のり
倉 嶋 一 典
(小山RC)

NTT東日本 栃木
お客様サービス部門長
入会年月日 平成20年5月15日

ひとと 健康・安全が第一であることを家庭
と職場で訴えている毎日です。

た なか かず ひろ
田 中 一 弘
(栃木RC)

(株)日本旅行栃木支店
支店長

ふる や ゆき のぶ
古 矢 幸 伸
(宇都宮陽北RC)

(有)サンライズ
営業

ひとと このクラブを通じて皆様方の下で勉
強させていただきます。

か とう のり お
加 藤 紀 夫
(宇都宮陽北RC)

(株)ケイエムシー
代表取締役社長

ひとと ご指導よろしくお願ひします。



第2550地区 新入会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

はん だ なお ゆき
半 田 尚 之
(宇都宮陽北RC)

(有)新輝塗装社
代表取締役

地域社会に微力ながらでも貢献出来
たらと思っています。

こ いけ てつ お
小 池 哲 夫
(宇都宮陽東RC)

(有)小池
代表取締役
入会年月日 平成20年3月4日

仕事以外の交流がなかった私ですが
RCでの出会いが楽しみです。

しん むら たけ お
進 村 武 男
(宇都宮陽北RC)

国立大学法人 宇都宮大学
工学部長
入会年月日 平成20年6月1日

さか い なる ひと
酒 井 成 仁
(宇都宮陽東RC)

(有)成和宅建
代表取締役
入会年月日 平成20年6月4日

名誉あるこの会に入会できました事
を心から嬉しく思います。

こ ばやし いち ろう
小 林 一 郎
(宇都宮陽東RC)

(有)カーサービス 小林
代表取締役
入会年月日 平成19年9月5日

片村さん紹介により入会でき感謝し
ております。

仙 波 清 之
(高根沢RC)

(株)仙波工業
会長

入会年月日 平成20年6月20日

いつまでもこの町が美しく豊かにあり
つけられるよう地域の発展を目指しロータリー精神と奉仕の心で努力進してゆきます。

おか だ あき ひこ
岡 田 明 彦
(高根沢RC)

キリンビール(株)栃木工場
工場長
入会年月日 平成20年6月20日

ロータリークラブへの参加は初めて
です。新年度からどうぞ宜しくお願
いします。



謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



あお き とおる
青木 享
(宇都宮陽北RC)
物故 平成20年4月10日
(享年67歳)

1995~97年	会員選考委員長	2003~04年
1997~98年	青少年奉仕委員長	マルチブルーム山功労者
1998~99年	国際奉仕副委員長	1996~97年
1999~00年	理事・職業奉仕委員長	米山奨学生カウンセラー
2000~01年	理事職業分類委員長	2004~05年
2003~04年	クラブ奉仕委員長	米山奨学生カウンセラー
2004~05年	会長	
2005~06年	ロータリー情報委員長	



すず き しげる
鈴木 茂
(益子RC)
物故 平成20年5月9日
(享年87歳)

1979~80年	会員選考委員長	ポール・ハリス・フェロー
1980~81年	広報委員長	米山功労者
1982~83年	ロータリー情報委員長	
1983~84年	会員増強委員長	
1984~85年	社会奉仕委員長	
1986~87年	ロータリー財団委員長	
1988~89年	雑誌委員長	
1991~92年	職業奉仕委員長	
1993~94年	会員選考委員長	



の むら たか とし
野 村 好 利
(佐野RC)
物故 平成20年5月12日
(享年77歳)

1968~1969年	親睦委員長	ポール・ハリス・フェロー
1971~1972年	出席委員長	米山功労者(4回)
1973~1974年	会員増強委員長	
1979~1980年	職業奉仕委員長	
1983~1984年	第25代会長	
1985~1986年	地区ロータリー情報委員	
1987~1988年	地区増強委員	
2002~2003年	プログラム委員長	



いな むら のり まさ
稻 村 訓 昌
(足利東RC)
物故 平成20年5月27日
(享年80歳)

マルチブル・ポール・ハリス・フェロー(2回)
米山功労者(3回)



なか ざと とし お
中 里 敏 雄
(田沼RC)
物故 平成20年6月13日
(享年73歳)

1976~77年	幹事	
1986~87年	会長	
1998~99年	田沼RC 35周年事業実行委員長	
	財団・米山寄付歴 P H F	



わた なべ いち ろう
渡 邊 一 郎
(西那須野RC)
物故 平成20年6月14日
(享年64歳)

1982年7月	入会	2002~03年	副会長
1985~86年	プログラム長		クラブ奉仕
1988~89年	職業奉仕長	2003~04年	会長
1992~93年	ロータリー財団	2006~07年	ロータリー情報
1994~95年	出席		地区委員
1996~97年	親睦活動		
1999~00年	雑誌	MY3FP2 (米山功労者)	
2000~01年	社会奉仕	マルチブル・ポール・ハリス・フェロー	



文庫通信 248号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩のロータリー観（3）

- ◎「‘心の温かさ’こそロータリーの推進力」 松本兼二郎 1973 4P
- ◎「どうしてあなたはロータリアンになっているのですか」 中山 義之 1997 6P (横浜東RC週報)
- ◎「ロータリーよ、いずこへ？」 村田 善明 1984 4P
- ◎「プロレスタンティズムの倫理と資本主義の精神とロータリーの理念」 濱川金兵衛 1986 4P
- ◎「ロータリーの精神を振るい起こすには」 前原 勝樹 1974 4P
- ◎「職業奉仕のお話」 神守源一郎 1981 18P
- ◎「良き市民とは……>その心得十ヶ條」 伊藤次郎左衛門編輯 12P
- ◎「四つのテスト」 刈谷RC 1998 9P

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー／PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためには、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

The Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

編集後記

今号が2007-2008ロータリービー年度のガバナー月信最終号となります。この1年間、関係者皆様の暖かいご指導とご協力を賜ったことに、心から感謝申し上げます。ご協力頂いた皆様、そして各クラブの益々のご発展をご祈念申し上げます。ありがとうございました。

国際ロータリー第2550地区 4月・5月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	4月										5月											
		出席者		会員数								出席者		会員数									
		例回数	今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会員	例回数	今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会員
第1グループ	大田原	4	80.70	85.15	46	48	1	0	6	4	2	3	3	78.50	84.55	46	48	0	0	6	4	2	3
	黒磯	5	95.60	95.13	42	45	0	0	4	1	3	2	4	92.30	94.87	42	45	0	0	4	1	3	2
	西那須野	4	91.66	94.98	51	52	0	0	2	1	1	0	3	92.29	94.73	51	52	0	0	2	1	1	0
	黒羽	4	93.72	89.06	20	19	0	0	0	1	-1	1	4	90.63	89.21	20	19	0	0	0	1	-1	1
	那須	3	84.61	84.89	24	26	0	0	4	2	2	3	4	69.23	93.46	24	26	0	0	4	2	2	3
	塩原	4	90.00	80.25	10	10	0	0	0	0	0	0	4	77.50	80.00	10	10	0	0	0	0	0	0
第2グループ	大田原中央	4	86.40	80.99	18	21	0	1	5	2	3	1	4	84.10	81.27	18	21	0	0	5	2	3	1
	鳥山	4	79.16	78.14	18	18	0	0	0	0	0	1	3	75.92	77.93	18	18	0	0	0	0	0	1
	氏家	3	94.25	89.32	32	33	0	0	3	2	1	0	5	88.27	89.23	32	33	0	0	3	2	1	0
	矢板	4	97.40	92.39	33	33	0	0	0	0	0	5	3	98.80	92.98	33	33	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	5	90.43	91.57	22	23	0	0	1	0	1	0	4	86.95	91.15	22	23	0	0	1	0	1	0
第3Aグループ	高根沢	4	90.00	84.91	14	19	1	1	6	1	5	0	4	60.00	82.64	14	19	0	0	6	1	5	0
	宇都宮	3	76.20	74.87	92	105	0	0	17	4	13	0	3	75.90	74.96	92	105	0	0	17	4	13	0
	宇都宮西	4	95.00	84.85	61	61	0	0	2	2	0	0	5	78.11	84.23	61	61	0	0	2	2	0	0
	宇都宮北	4	89.35	82.46	59	61	1	0	4	2	2	0	5	80.66	82.30	59	61	0	0	4	2	2	0
	宇都宮90	3	70.83	84.59	40	40	0	0	1	1	0	4	3	86.60	84.78	40	40	0	0	1	1	0	4
第3Bグループ	宇都宮陽北	3	82.00	76.62	34	34	0	0	1	1	0	5	3	80.30	76.95	34	34	0	0	1	1	0	5
	宇都宮東	4	96.25	93.67	101	101	0	0	5	5	0	0	3	93.92	93.70	101	101	0	0	5	5	0	0
	宇都宮南	5	66.46	71.83	50	57	2	0	7	0	7	0	3	76.21	72.23	50	57	0	0	7	0	7	0
	宇都宮陽東	5	84.80	84.90	44	46	0	0	4	2	2	1	3	86.69	85.06	44	46	0	0	4	2	2	1
第4グループ	宇都宮陽南	4	90.00	89.40	20	20	0	0	1	1	0	4	4	88.75	89.34	20	20	0	0	1	1	0	4
	真岡	4	95.05	91.76	46	49	0	1	6	3	3	0	4	91.01	91.70	46	49	0	0	6	3	3	0
	益子	4	88.60	86.10	38	39	0	0	2	1	1	0	4	85.90	86.08	38	39	0	0	2	1	1	0
	真岡西	4	97.87	92.77	47	49	1	0	3	1	2	10	3	85.33	92.10	47	48	0	1	3	2	1	10
第5グループ	しもつけ	5	98.00	93.22	30	30	0	0	0	0	0	8	4	93.33	93.23	30	30	0	0	0	0	0	8
	小山	3	91.67	93.25	49	50	0	1	2	1	1	0	4	94.39	93.36	49	51	1	0	3	1	2	0
	小山南	2	100.00	98.06	20	19	0	0	0	1	-1	2	4	100.00	98.23	20	19	0	0	0	1	-1	2
	小山東	4	89.19	90.22	40	37	0	0	0	3	-3	0	5	92.43	90.42	40	37	0	0	0	3	-3	0
	小山北	5	82.89	81.14	28	27	0	1	3	4	-1	0	4	94.22	82.33	28	25	0	2	3	6	-3	0
第6グループ	小山中央	3	77.00	78.60	26	26	0	0	0	0	0	1	3	78.00	78.55	26	26	0	0	0	0	0	1
	栃木	5	85.49	87.56	54	51	1	0	1	4	-3	0	4	88.23	87.62	54	51	0	0	1	4	-3	0
	栃木西	4	93.18	87.37	44	39	0	1	0	5	-5	2	2	80.00	86.70	44	39	0	0	0	5	-5	2
	壬生	5	90.00	81.00	19	21	0	0	2	0	2	2	4	90.00	81.82	19	21	0	0	2	0	2	2
第7グループ	栃木南	4	93.00	89.88	33	34	0	0	2	1	1	5	4	88.70	89.77	33	34	0	0	2	1	1	5
	日光	4	69.76	65.10	29	28	0	0	2	3	-1	5	4	72.15	65.74	29	28	0	0	2	3	-1	5
	鹿沼	4	95.28	94.33	71	73	0	0	3	1	2	1	4	95.65	94.45	71	73	0	0	3	1	2	1
	今市	5	90.45	91.43	42	44	0	0	3	1	2	0	3	90.91	91.38	42	44	0	0	3	1	2	0
	鹿沼東	4	96.62	95.98	46	45	1	0	1	2	-1	2	4	93.24	95.73	46	45	0	0	1	2	-1	2
	栗野西方	4	96.75	93.60	17	16	0	0	2	3	-1	1	5	86.00	92.91	17	16	0	0	2	3	-1	1
第8グリーン	鹿沼中央	4	66.97	76.44	30	28	1	0	1	3	-2	1	2	67.20	75.60	30	28	0	0	1	3	-2	1
	今市きぬ	4	96.09	94.62	30	32	0	0	2	0	2	1	3	92.71	94.45	30	32	0	0	2	0	2	1
	足利	3	74.30	74.25	43	48	1	0	6	1	5	0	2	75.00	74.32	43	48	0	0	6	1	5	0
	足利東	4	73.30	71.70	60	61	0	0	4	3	1	8	4	77.20	72.20	60	61	0	0	4	3	1	8
第9グループ	足利西	4	81.68	76.16	15	15	0	0	0	0	0	0	5	75.98	76.14	15	15	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	96.67	91.52	29	31	0	0	2	0	2	0	3	96.67	91.99	29	31	0	0	2	0	2	0
	佐野	4	91.12	89.83	57	58	0	0	4	3	1	0	3	83.56	89.26	57	56	0	2	4	5	-1	0
	葛生	4	87.80	88.03	36	39	0	0	3	0	3	0	3	89.70	88.18	36	39	0	0	3	0	3	0
第9グループ	田沼	4	89.63	90.28	42	40	0	0	0	2	-2	0	4	90.89	90.33	42	40	0	0	0	2	-2	0
	佐野東	4	89.58	80.95	23	24	1	0	1	0	1	0	4	85.42	81.36	23	24	0	0	1	0	1	0
	岩舟	4	85.60	83.54	26	26	0	0	0	0	0	1	3	94.90	84.57	26	26	0	0	0	0	0	1
	5 0 R C		87.77	85.97	1901	1951	11	6	128	78	50	80		85.41	85.92	1901	1947	1	5	129	83	46	80